

2025 年 6 月 6 日

**第 149 回定時株主総会に向けたインスティテューショナル・シェアホルダー・サービシーズ・
インク(ISS)による議決権行使推奨に対する武田薬品工業取締役会議長 飯島彰己からの
意見表明について**

株主の皆様へ

当社は、第 149 回定時株主総会におけるクリストフ・ウェバー氏の取締役再任議案(第 2.1 号議案)および社内取締役賞与の承認議案(第 3 号議案)について、インスティテューショナル・シェアホルダー・サービシーズ・インク(ISS)が株主の皆様に対同行使を推奨していることについて、強く反対し、本年も当社取締役会を代表して見解を記させていただきます。

議決権を行使にあたっては、長期的な成長を実現し、株主価値を最大化するといったウェバー氏の戦略的な経営ビジョンとその実行力と成果を総合的にご勘案いただけますようお願い申し上げます。

ウェバー氏のリーダーシップの下、武田薬品は、真にグローバルで価値観に基づいたイノベーション主導型のバイオ医薬品企業へと変革を遂げました。同氏の戦略的な取り組みにより、当社は業界内でも有数の競争力のある後期開発パイプラインを保有するとともに、これらの革新的な医薬品をグローバルで展開するための商業的な規模および実行力を備えています。2025 年は、rusfertide、oveporexton、zasocitinib という、患者さんおよび株主の皆様に大きな価値をもたらす可能性のある 3 つの有望な後期開発パイプラインの臨床第 3 相試験データの読み出しが予定されており、武田薬品にとって極めて重要な年となります。

また、当社は現在、強固なグローバルサプライチェーン、地理的にバランスのとれた事業基盤、知財や、税務戦略に対しては責任ある行動を通じ、目まぐるしく変化し続ける地政学的環境のなかにおいても、柔軟に対応できる体制を整えています。

当社が変革の過程において、戦略的 M&A に伴う取得原価の配分といった企業結合会計により、自己資本利益率(ROE)のような特定の財務指標に影響が及ぶ場合があります。株主の皆様におかれましては、短期的な財務ベース上の利益指標だけではなく、急速に進化する世界の医薬品市場において、将来に向けて武田薬品を真に競争力のある企業へと変革させたウェバー氏の功績を、より包括的にご評価いただきますようお願い申し上げます。

また、取締役会は、世界の医薬品市場において競争力のある報酬を支払うことにより、武田薬品の上級管理職の流出を防ぎ、モチベーションを高めることが極めて重要であると考えています。

武田薬品の社内取締役の報酬水準および報酬構成は、独立した社外取締役 4 名で構成される報酬委員会
が、独立した報酬コンサルタントと協議の上、毎年見直した上で決定しています。同委員会は、グローバル製
薬企業の役員の報酬をベンチマークとし、報酬と業績および長期的な株主価値創造と密接に関連した報酬
および業績目標を設定します。また、社内取締役の報酬の大部分は株式ベースの長期インセンティブであり、
これには株主総利回りによる調整 (TSR modifier) が含まれ、株主価値と連動する設計となっています。

2025 年に予定されている有望な後期開発パイプラインの重要なデータ読み出しを通じて、武田薬品の長期
的な成長性に対する投資家の信頼が高まり、結果として企業価値に反映されていくものと期待しております。

取締役会および私は、社長 CEO としてクリストフ・ウェバー氏に大きな信頼を寄せ、長期的な株主価値の最大
化に向けた戦略を実行し得る同氏の能力を全面的に信じています。また、ウェバー氏の後任として社長 CEO
に就任し、2026 年 6 月に取締役候補として選任を予定しているジュリー・キム氏への円滑かつ確実な経営移
行を実現するため、ウェバー氏に一定の時間をもってその責務を全うしていただくことが不可欠であると考え
ています。

今後も、取締役会としては厳正かつ健全な監督機能を働かせながら、武田薬品の企業価値の向上に努めて
まいります。

つきましては、株主の皆様におかれましては、第 149 回定時株主総会において当社の提案するすべての議
案に賛成票を投じられますよう、謹んでお願い申し上げます。

以上

武田薬品工業株式会社
取締役会議長
飯島 彰己

武田薬品の重要な注意事項

本注意事項において、「ステートメント」とは、本ステートメントに関して武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本ステートメント(それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます)は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本ステートメントにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本ステートメントは、(投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく)情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で(受領者に対して提供される追加情報と共に)提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本ステートメントにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社(we, us 及び our)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあります。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあります。

武田薬品の将来に関する見通し情報

本ステートメント及び本ステートメントに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「めざす(aims)」、「意図する(intends)」、「確実にする(ensures)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「かもしれない(could)」、「予想される(anticipates)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」、「予測する(forecasts)」、「見通し(outlook)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件並びに国際貿易関係に関する状況を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、税金、関税その他の貿易関連規則を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機、温室効果ガス排出量の削減又はその他環境目標の達成を可能にする武田薬品の環境・サステナビリティに対する取り組みの成功、人工知能(AI)を含むデジタル技術の統合をはじめとする、業務効率化、生産性向上又はコスト削減に向けた武田薬品の取り組みや、その他の事業再編に向けた取り組みが、期待されるベネフィットに寄与する程度、武田薬品のウェブサイト(<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings/>)又は www.sec.gov において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本ステートメントに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本ステートメントにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。